



マーケット・レポート

# Weekly Guide

2026.3.9

りそなアセットマネジメントの  
YouTubeチャンネルで、  
音声付きの解説動画を  
ご覧いただけます！



## 主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

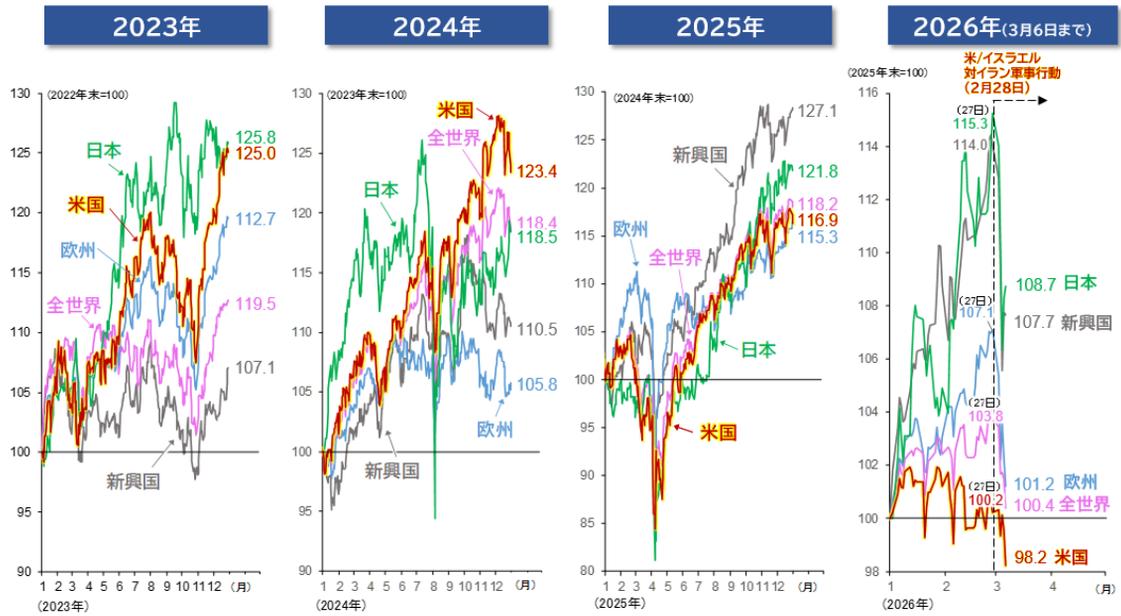
先週は、イラン情勢の悪化と原油価格急騰が嫌気され世界的にリスクオフの動きが広がりました。主要株価指数の週間騰落率は、NYダウが▲3.0%、ナスダック総合指数▲1.2%、独DAX指数▲6.7%、日経平均株価は▲5.5%で終わりました。債券市場では原油高によるインフレ高進が意識され売りが先行しました。10年国債利回りは米国が前週末比+20bpの4.14%、ドイツは同+22bpの2.86%、日本は同+5bpの2.17%に上昇しました。ドル円相場は有事のドル買いで157円台後半まで円安・ドル高が進み、WTI期近は前週末比+35.6%の90.9ドル/バレルと23年9月以来の高水準となりました。

今週は、引き続きイラン情勢と原油価格の動向が焦点となります。経済指標では米国の2月インフレ指標が注目されます。先週末発表の2月雇用統計が予想を大きく下回り米景気の先行き懸念が再浮上していることから、利下げ再開期待を支援する内容となるか、注目されます。

### 当面の注目イベント

- ◆ 日・1月実質賃金総額 (9日)
- ◆ 米・2月NY連銀期待インフレ率 (9日)
- ◆ 日・2月企業物価 (11日)
- ◆ 米・2月コアCPI (11日)
- ◆ 米・1月コアPCEデフレーター (13日)
- ◆ 米・1月JOLTS(求人数) (13日)

イラン情勢悪化を受け、先週は日本株と新興国株（特に韓国などアジア市場）が大きく下落しました。アジア各国は中東原油の依存度が高いという理由に加え、年初来大幅上昇していた反動という側面も強いと考えられます

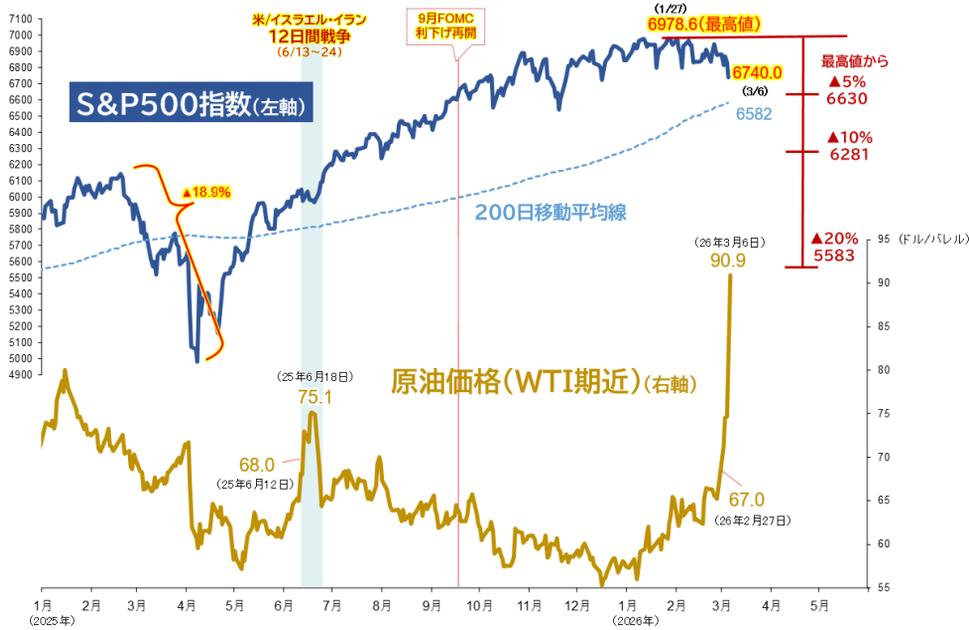


※米国: MSCI USA指数、欧州: MSCI Europe指数、日本: MSCI Japan指数、全世界: MSCIオール・カンントリー・ワールド指数、新興国: MSCIエマージング・マーケット指数 (すべて現地通貨建てで、配当なし)

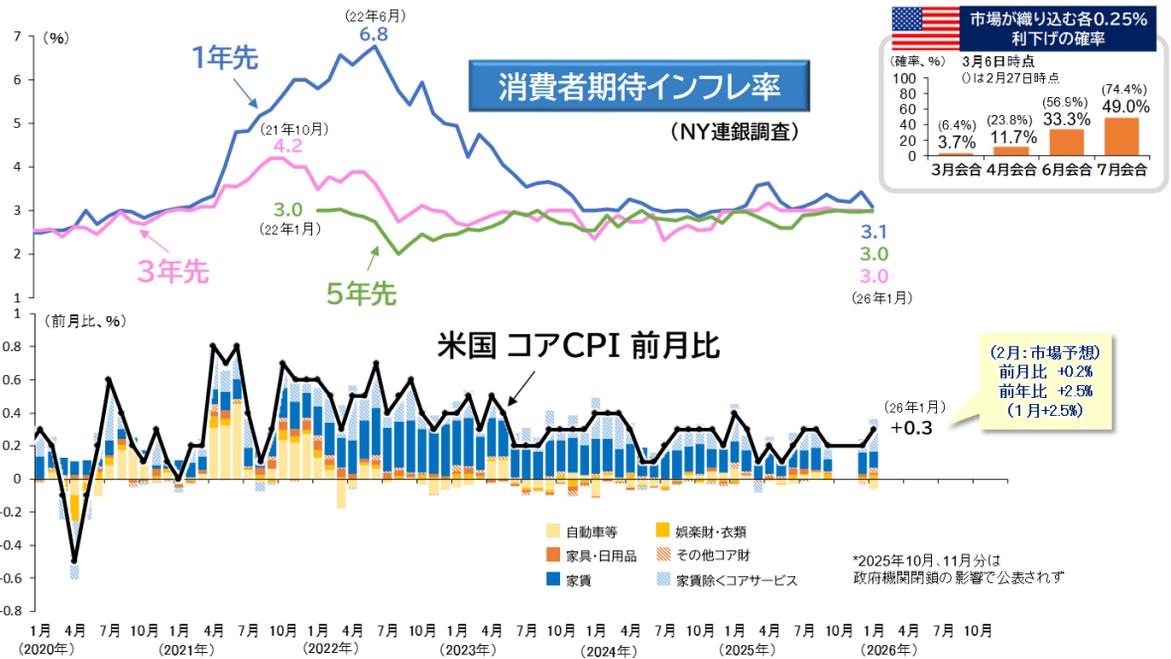
【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

※最終ページの<当資料に関するご留意事項>を必ずご覧ください。

S&P500指数の先週末引値は最高値 (6978pt) から▲3.4%の水準です。米国株の調整局面入り (高値から▲10%)、弱気相場入り (同▲20%) を回避するよう、トランプ政権はイラン問題の早期収束を目指すと思われます



原油高によるインフレ高進が懸念され、FRBの利下げ期待が後退しています (6月FOMCでの0.25%利下げ確率は前週末の56%台から33%台に低下)。今週発表の2月インフレ指標で利下げ期待が盛り返すか、注目されます



次回は 2026年3月16日 発行予定です

### 〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認ください。